

平成27年度 第1回さいたま市立中学校運動部活動地域実践研究協議会 議事録

1 日 時 平成27年7月6日(月) 17時30分～19時00分

2 会 場 教育委員会室

3 出席委員

(委員12名)

委員 加藤 明良 (委員長)
委員 菊原 伸郎 (副委員長)
委員 松澤喜久夫 (副委員長)
委員 川嶋 克夫
委員 高見 哲 代理 山瀬 睦
委員 小浜 雄司
委員 田村 貴恵
委員 外園 倫生
委員 笹尾 章
委員 長谷川 百合矢
委員 山田 瑛里佳
委員 近藤 裕司

(事務局7名)

小柳 昌彦 スポーツ振興課長補佐
山本 高弘 指導1課長補佐
津田 顕吾 指導1課主任指導主事兼係長
下館 文雄 指導1課主任指導主事
前橋 力 指導1課主任指導主事
武田 泰之 指導1課主任指導主事
茂木 千春 指導1課主任指導主事

4 配付資料

平成27年度第1回さいたま市立中学校運動部活動地域実践研究協議会資料

5 主な議題と内容

(1) 報告事項

- (事務局) 「①さいたま市立中学校運動部活動地域実践研究協議会設置要綱の一部改正について」配付資料P1～P2を基に報告
- (事務局) 「②これまでの研究の成果と課題について」配付資料P5を基に報告
- (委員) 参加人数について、原山中学校の部員も含まれているのか。
- (事務局) 含まれている。
- (事務局) 「③本年度の取組について」配付資料P6～P7を基に報告
- (委員長) 平成27年8月20日にさいたま市が主催するガールズマッチを予定している

とのことだが、交流試合までに何回練習が予定されているか。

(事務局) 2回である。

(委員) 今年度作成する指導の手引について、目的や位置付けは決まっているのか。
また、どのようなものをイメージしているか。

(事務局) 中学生の女子生徒向けのサッカー指導で参考になる書籍は市販されていない。
女子生徒のサッカー指導に特化した指導の手引を作成したい。初心者の方の指導者や総合型地域スポーツクラブ等の指導者が、どのように指導したらよいか分かる指導の手引を作成したい。

(委員) 平成26年度の指導を通して、指導の目的や戦術の理解などの柱を明確にしていくようにしたい。

指導の手引を作成するとなると重責があり、難しさもある。サッカー経験者と未経験者といったニーズの違う生徒の指導の実践事例やサッカーの好きな生徒がもっと好きになるための練習事例集のようなものの作成がよいのではないか。

(委員長) サッカーをやりたいという生徒に対して、初心者の方の生徒でも取り組み易くするためにどのような指導を行ったらよいのか、また、指導者へアドバイスをするようなものが作成できればよい。

(委員) 原山中学校の女子サッカー部の練習は、小学生に教える練習メニューに基づいて行っている。練習では生徒に足りないものや苦手なことを行っている。小学校低学年の児童が行うような練習も行っている。

(委員長) 女子生徒レベルに合った指導法があるのではないかと考え、指導の手引を作成をしていくようにしたい。

また、調査・研究は4年目をむかえ、このまま続けていくことは困難であるため、調査・研究は今年度で終了する。

(2) 協議事項

(事務局) 「今後の本市における中学生女子サッカーの普及について」資料P8を基に報告

サッカーを希望する女子生徒のニーズに対応し、総合型地域スポーツクラブ(地域)、市内各中学校(学校)、交流大会の実施(行政)が連携していく必要がある。

(委員) 総合型地域スポーツクラブの現状として、サッカーを主体で行っているクラブもある。女子サッカーに興味がある児童生徒はいるが、練習場所、コーチの派遣等に問題がある。

試合に出場するに当たり、サッカー協会と中学校体育連盟のどちらに登録をするかが課題であると認識している。

(委員) 中学校に新規で女子サッカー部を設立することについては、顧問の教諭の数、活動場所の確保という課題がある。

(委員) サッカー部があり、女子も受け入れているという学校もあるが、女子の入部は少なく、クラブチームを選択している生徒もいる。なぜ、身近にある学校の部活動に入らないのか。このことについての実態調査はしているか。

(事務局) 実態調査はしていない。友達との人間関係が影響してサッカー部ではなく、他の部活に所属していると考えられる。

(委員) 今後、女子サッカーの啓発をしていくために本協議会の目指す方向性が必要

である。各学校に女子サッカー部の設立が難しいのならば、各区に拠点校があるとよい。

(委員) 保護者の視点としては、練習するチームが少なく、高校生、大学生と試合をしたり、遠くへ練習試合に行ったりすることもあるので、各区に1つでも拠点があるのはありがたい。

(委員) 地区ごとに複数の学校に在籍している女子生徒で構成したサッカー部をつくる必要があるではないか。

(事務局) 女子サッカー部を各学校ごとに新設することは、生徒のニーズ、顧問、活動場所など多くの課題がある。今後も、委員の皆様の協力をお願いして、中学生女子サッカーの部活動について検討していく。